



増永 信行 さん

●プロフィール
ますなが・のぶゆき。教員生活40年。
1997年、行政相談委員に委嘱。現在、
熊本行政相談委員協議会副会長も務め
る。木倉地区。77歳

相談のエキスパート13年

行政相談委員へ総務大臣表彰

10月13日、行政相談委員を務める増永信行さんに片山善博総務大臣から表彰状と銀杯が授与されました。

この表彰は、全国で活動する行政相談委員約5千人の中から、業績が顕著で他の模範と認められた人に贈られるものです。平成9年11月、行政相談委員の委嘱を受けた増永さんは、行政への苦情や心配事の相談を手がけています。

主に民生児童委員や人権擁護委員、弁護士と連携して、毎月第3水曜日には、町社会福祉協議会

で相談窓口を開設。多重債務や土地境界など、複雑な問題を幅広い見識を生かしながら、専門窓口への確に仲介するエキスパートとして、約13年間活動に尽力されています。

「特別なことはしていませんが、すごくありがたい。(年齢的に)残された期間で、今まで通り傾聴の心を持って、相談を受けていきたいです」と話す増永さん。

年々相談内容が多様化する現代。常に相談者の心の内に耳を傾けることで安心感を与えながら、改善の方策へと導きます。



行政相談委員の増永さんに総務大臣から贈られた表彰状と銀杯 (右)



農業経営統計調査に協力する内藤さんに農林水産大臣から贈られた感謝状と、20年間欠かさずに記帳する作業日報と現金出納帳 (左)

農業経営を記録して20年

農林水産大臣から感謝状

「統計の日」の10月18日、農業経営統計調査に協力する内藤幸孝さんに、鹿野道彦農林水産大臣から感謝状と金杯が贈呈されました。

この表彰は、農林水産統計調査を永年にわたり協力した人へ贈られるものです。

農業一筋53年の内藤さんは、主要作物のタバコ栽培に従事する傍ら、統計局からの農業経営統計調査に20年間協力しています。作業日報と現金出納帳を一日も休むことなく記帳して、毎月、農業経営の収支状況を統計局

へと報告しています。内藤さんは、「5月7月はタバコの収穫で忙しくて、記入することがきつときもありませんが、依頼されているため毎日つけています」と話し、責任感が人一倍強い持ち主です。さらに「ありのままを書きだけ。(調査が)役にたっているのならばうれしい。(調査票を)書けるうちは協力していきたいですね」と続ける内藤さん。

こうした日々の積み重ねこそが、農業行政のデータとなって、明日の農業に役立てられています。



内藤 幸孝 さん

●プロフィール
ないとう・ゆきたか。農業一筋53年。
主要作物はタバコ。1990年から農業経営統計調査に協力して経営状況を記録。木倉地区。71歳

古き良き時代、御船のシンボルとして、愛されていた「白壁の酒蔵」。

かつての御船川沿いには、いくつもの造り酒屋が軒を連ね

誇り高き「御船の酒」を造っていたという。

その町並みと醸造の歴史が途絶えて、30年余り。

時代の流れの中、いつしかその記憶は遠い過去のものとなっている。

だが、「御船の酒を復活させたい」という熱き魂が、この町に残っていた。

偉大なる先人たちが200年の間、守り続けた酒造りの歴史を

今再び、この町に生きる者の手によって、新たな「命」が吹き込まれたのだった。

「水の鼓動」という名で――



特集

白壁 (後編)